

「呉広島空港線」の運行開始に向けた今後の取り組みについて

1 路線運行に係る支援策

- バス路線「呉広島空港線」は、市民や空港利用者等の利便性を向上し、呉地域の活性化及び呉市のステータス向上等を図るために運行開始するもので、当該路線の定着化により、観光客やビジネス客等の増加につながり、宿泊や飲食等の消費活動等、市内産業の活性化が期待される。
- また、当該路線の運行にあたっては、東広島・呉自動車の全線開通が予定される平成26年度末までの間、本格運行を見据えた社会実験的な運行とし、運行頻度、ダイヤ及び停車場所等の調査・改善並びに正確な需要把握等を実施することで、採算性が確保されていくものと考えられる。
- こうした中、広島県では、広島空港の利用促進や利便性向上による航空ネットワークの維持・拡充を図るため、平成25年度から、空港へのリムジンバスを試験運行する実行委員会に対して、運行に係る経費（運賃収入を除く。）の一部を支援する制度が創設される予定である。

【県支援制度の概要】

	内 容	備 考
実施主体	社会実験実行委員会（仮称）	県，市町，関係事業者で組織
対象経費	試験運行に係る経費（運賃収入を除く。）	—
負 担 率	負担対象経費の 1/3	10,000 千円/1 路線を上限

※県から実行委員会に対する支援は、運行開始後、最も需要が不透明な最初の1年間（平成25年度）限り。

- 本支援制度を積極的に活用するため、広島県及び運行事業者等と共同し、呉市地域公共交通協議会の分科会として、新たに「呉広島空港線運行実行委員会」を設立。
- 当実行委員会が、市及び広島県からの負担金をもとに、運行事業者に対する一定の財政支援を行い、社会実験的な運行とすることで、効率的・効果的な路線運営の実現を目指す。

2 実行委員会の概要（案）

- 呉広島空港線運行実行委員会の組織及び運営等については、【資料5】呉市地域公共交通協議会分科会設置規程（案）のとおり。

